

会 議 録

会 議 の 名 称		令和8年度第1回上尾市介護保険事業計画等推進委員会	
開 催 日 時		令和8年7月27日（月） 午後1時00分から	
開 催 場 所		Web 会議	
議長(委員長・会長)氏名		今村 恵一郎	
出席者(委員)氏名		轟 信一、秋山 かほる、沼尻 克美、村橋 憲、濱野 百合子、 上村 睦、三友 延江、新木 隆弘、高山 亮平、根岸 安枝、 清水 満、刀根 正克、浅賀 祐子	
欠席者(委員)氏名		岸井 やよい	
事務局(庶務担当)		田中健康福祉部長、松木健康福祉部次長、関田高齢介護課長、赤羽根 地域支援室長、金副主幹、藤田副主幹、橋本主査、高橋主査、秋谷主 査	
会 議 事 項	1 議 題		2 会 議 結 果
	1 開 会 2 諮問 3 市長あいさつ 4 委員長あいさつ 5 議事 (1) 高齢者実態把握アンケート調査から出てきた現状と課題 (2) 第10期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の骨子（案） 6 その他 7 閉 会		別紙のとおり
議 事 の 経 過		別紙のとおり	傍聴者数 0名
会 議 資 料		1 第10期上尾市介護保険事業計画等推進委員会委員名簿 2 高齢者実態把握アンケート調査から出てきた現状と課題 3 第10期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の骨子（案） 4 施策の体系（第9期計画と第10期計画の比較）	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和8年7月27日 会議録署名人の署名 <u>と村 睦</u> 会議録署名人に代わる者の署名 _____ (会議録署名人が欠けたときのみ)			

議事の経過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	令和8年度第1回上尾市介護保険事業計画等推進委員会 1. 開会 2. 諮問 3. 市長あいさつ 4. 委員長あいさつ 5. 議事 - 会議録署名人の選任（会議録署名人 上村 委員） - 傍聴人確認 （傍聴人 0人）
事務局	(1)「高齢者実態把握アンケート調査から見えてきた現状と課題」について それでは、議事（1）、高齢者実態把握アンケート調査から見えてきた現状と課題について説明いたします。画面を共有いたします。議事（1）では資料1を使用しますが、その前に、厚生労働省のこちらの資料を画面に映しますので、ご覧ください。こちらの1段目、人口の急速な変化が予測されています。具体的には、15歳から64歳までの生産年齢人口が約1,300万人減少する一方で、65歳以上の高齢者人口は、約300万人増加します。これにより、2020年は、1人の高齢者を2人の現役世代が支える構造であったものが、2040年には、2人の高齢者を3人の現役世代で支える構造となる見込みです。また、3段目、単身高齢者世帯の増加についても、2040年に向けて増加が見込まれています。国の基本指針においても、今回新たに2040年という文言が多く使用されており、この年に向けてさまざまな分析等を行うことが示されております。この国の基本指針を受け、本市においても、2040年を意識しながら計画を策定していく必要がございます。一番下の図をご覧ください。自助、互助、共助、公助のバランスが重要となります。 資料「高齢者実態把握アンケート調査から見えてきた現状と課題について」に基づき説明。
今村委員長	ただ今の担当者からの説明につきまして、質問やご意見はありますか。では、新木委員、お願いします。
新木委員	質問いたします。アンケートのP300、P301で、採用が困難、同業他社との人材獲得競争が激しいという結果が出ているとまとめていただいたところです。この状況自体は、各施設で努力しても解決が難しい問題ではないかと感じています。この結果の分析をどのようにされて、次期の保険事業計画につなげていくのか伺いたいです。お願いします。
事務局	高齢介護課長の関田です。人材確保は非常に難しい問題ということで、現状、それによって、今後どのように対応していくかは、国もかなりこれについては苦勞しており、ご存じの通り、処遇改善などが今は行われている状況です。国では、事業者からの要望を受けて、処遇改善の見直しを進めている状況ではありますが、上尾市において、より効果的な方法があるのかについて、現在では正直なところ、明確な回答はございません。

	市が実際に今、人材確保ということで、入門的研修や喀痰吸引の研修などいくつか事業を行っていますが、第 10 期計画の策定にあたり、今後どのような施策を打っていくかについては、新木委員もいらっしゃる施設なども含め、関係者の皆様から、実際にどの辺りが事業所として効果的だと考えられるか、あるいは、どこをサポートしてもらうことで、より介護人材の確保につながってくるかというご意見をいただきながら、決めていきたいと思っております。お答えになっているか分かりませんが、今この場で、どうするかということについては、ご回答することが非常に難しい問題です。
新木委員	上尾市内でも人材を取り合っているような状況です。ぜひ他市に負けないような環境を作っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。
今村委員長	根岸委員から手が上がっています。よろしくお願いします。
根岸委員	同じく介護人材についてです。第 10 期の骨子で質問しようか迷いましたが、DX、ICTに加えて、ぜひロボットの活用も視野に入れていただきたく、提案します。高齢者や認知症の方の服薬管理はすごく課題です。服薬確認のためだけにマンパワーを割くことは、その方の利用可能なサービス量を圧迫することに加え、マンパワー不足からも事業所側としては厳しいというお話も聞いています。予め設定した時間になると、薬の服用を促すアラームや声が鳴り、同時にロボットから薬が出てくるタイプのものが市場にいくつかありますが、非常に費用負担が大きく、実際の導入に向けて、ハードルが高いです。お薬ロボット等の導入に向けて、例えば助成金を設定していただくなど、ご検討いただければと思い提案いたします。
事務局	高齢介護課です。先ほどの新木委員からお話が合った人材確保の関係で、先ほども申しましたように、第 9 期はどうやって人を集めるかに注力してまいりました。結果として、大きな成果を得られていないというのが私の感想でございます。今、根岸委員からご提案いただいた ICT の活用は、ただ単に人を集めることに注力するのではなく、例えば、服薬ロボットを活用することによって、おそらく看護師の訪問回数を減らせるという話ではないかと思えます。そういった面の検討はぜひ行っていきたいと考えております。実際に服薬ロボットを導入している薬局があると聞いたことがあるので、そういったところにヒアリングをしながら、どのぐらいのコストでどのような効果が得られるかについて、調査・検討していきたいと思えます。また、服薬ロボットに限らず、より効率的に業務を行えるような施策などがございましたら、ご提案いただければこちらでも検討しますし、私どもとしても研究してまいりたいと考えております。
今村委員長	高山委員、よろしくお願いします。
高山委員	先ほど ICT、DX を含めて、人材確保というところから、負担軽減や良い循環を導く形は良いのではないかと考えております。ケアマネジャーも含め、指定の取り方によっては 49 件まで最大伸ばすことができるという施策もございます。そういった ICT ツール、ボイスレコーダーを含めて記録がよくなる、先ほどの服薬ツール含めて、今いる人材を効率化することによって受け皿を広げることができるという観点で、補助金のご準備、ご協力等いただけると、こちらとしてももう少しできることがあるのではないかと考えております。
今村委員長	では、回答よろしくお願いします。

事務局	高齢介護課です。おっしゃる通りだと思います。私どもも、現場で実際に介護に従事していらっしゃる方々の課題と、こういったツールがあると効率的に業務が行えるかについては、研究していくべき点だと考えております。この後、10期の施策についてご説明を行う際に、これから秋口にかけてそういったお話を組み立てながら、具体的にこういった事業を今後行っていくかという検討に入りたいと思っております。今、新木委員、根岸委員、高山委員からいただいたご意見を踏まえ、この人材確保を単なる人の募集だけではなく、こういった面で協力することで負担を減らせるかという点についても考えていきたいと思っております。
今村委員長	他に何かご意見、ご質問はありますか。では、秋山委員、よろしくお願いします。
秋山委員	質問です。第9期高齢者福祉計画との比較をしたいので、教えてもらえますか。要介護1及び2の想定される人数です。それと、自己負担額の増加です。あと、要介護3及び4について、同じような質問です。それと、要介護3、4、5、想定される人数です。あと、ずっと自宅にいたいという人が多いです。訪問介護事業は大事です。施設に行くのではなく、来てもらうのは、どのぐらい増えたのか。今何件ぐらいそれがあって、第9期上尾市高齢者福祉計画のときと比べ、10期では大体どのぐらいになっているのか、教えてほしいです。
今村委員長	質問の内容が多いので、文書にして事務局に問い合わせをして、また後日回答という形でよろしいでしょうか。
秋山委員	後日でも構いません。ただ、9期、10期の比較をしたいので、高齢者の人数や事業所の数などの比較ができないことには、この10期で具体的に何が必要なのか。なので、人数と自己負担額の増加、各段階において、調べてください。
事務局	今すぐに数字をご用意できないので、ご質問を整理して、資料としてお出しします。この会議が終わりましたら、議事録を作成しますので、そのタイミングに合わせて資料を出させていただければと思いますが、よろしいでしょうか。
秋山委員	良いです。
今村委員長	秋山委員、申し訳ないですが、今の内容で質問やご意見をまとめていただき、事務局に提出をお願いします。時間が限られているので、次に進みます。 事務局、次の第10期上尾市高齢者福祉計画の骨子（案）について、説明をよろしくお願いします。
事務局	(2)「第10期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の骨子（案）」について 資料「第10期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の骨子（案）」「施策の体系（第9期計画と第10期計画の比較）」に基づき説明。
今村委員長	この案について、ご意見、ご質問はありますか。根岸委員、よろしくお願いします。
根岸委員	敬老事業にところでお伺いしたいです。第9期で敬老事業の継続、第10期で敬老事業の実施と赤字に変わっているのですが、内容がどう変わったのかと、実施になることで、アンケートの結果から何が見えてきたのか、市民の方からどのような声が挙がったのかを教えてくださいたいです。

事務局	高齢介護課です。市民から、金婚式、ダイヤモンド婚式に関して意見が複数ございました。代表的なものを申し上げます。金婚式、ダイヤモンド婚式は、私どもはイベントとして開催されると、非常に喜ばれている実感がございます。一方で、市民からの声として、一部の夫婦、その時期を迎えられた方だけを祝福することは、はたして公平性の観点から見てどうなのかといった意見がございます。社会の多様性の中でいろいろなパートナーのあり方があり、上尾市が定めた婚姻という形の夫婦で一定期間を迎えられた方だけをお祝いするのは、公費を使ってやるものとしては不公平に当たるのではないかというご意見でございます。また、その日を楽しみに一生懸命夫婦生活を送ってこられた方でも、その日に残念ながら届かず、他界されてしまうなどで、参加できない方もいらっしゃるので、金婚式の今後の継続については、考えるべきではないかといったご意見がございます。 また、冒頭の説明の中でお話しましたが、現在、高齢者1人を2人の現役世代が支える状況になっている中で、今後2040年に向かい高齢者2人を現役世代3人で支えることとなります。金銭的な面、税金などの関係もありますが、そういう状況になっていく中で、金婚式、祝い金などの祝い事業についても一部見直しを行い、より高齢者が今後元気に過ごして行けるような介護予防事業にシフトしていくことで、社会全体の負担を軽減すべきではないかといったご意見が、一部出ております。主だった意見としては、その2点でございます。
今村委員長	他にご意見はありますか。高山委員、お願いします。
高山委員	先ほども述べましたが、目標7（5）「人材の確保・定着」の中に含めるかどうかですが、この辺りに業務効率化の観点が入る余地はありますか。あとは、現場側と行政側との連携、シャドーワークの部分が結構多いです。今後、単身高齢者が増え、認知症の方が増えてきます。地域の方の手を借りて自宅での生活をしたいとなつて、地域の方の手を借りるとなると、思いつくのは大体ケアマネジャーのシャドーワークになるのではないかというのが、視点の中にどうしても入ってきてしまいます。そう考えると、業務改善や業務効率化の観点をどのようにお考えか、教えていただければと思います。
今村委員長	では、お願いします。
事務局	高齢介護課です。今おっしゃられた通り、先ほどもお話しましたが、業務効率化については検討していきたいと考えております。それにあたって、現場で実際に介護事業に携わっている方のご意見をいただき、的外れでない施策を的確に打っていく必要があると考えております。そういったものについて、最近では自宅に人感センサーを付けることによって、24時間動きがなければ、緊急で警備会社が駆けつけるといったサービスもかなり充実してきております。あるいは、その地域に住まわれている単身高齢者を支える方法として、より民間の力を借りていく方法も検討していかなければいけないと思います。ですので、ICTの面と有償サービスを使った事業のあり方を、今後視野に入れていく必要があると考えております。
高山委員	ありがとうございます。
今村委員長	他にご意見等ありますか。秋山委員、お願いします。
秋山委員	私は、訪問介護事業を受けています。最近多くなっているのは、高齢者の一人暮らし

	しと、鳥や猫を飼っているうちが結構あります。訪問介護事業に行ってやりたいが、猫や鳥をどうするのか、その世話で大変だと言います。それを支える地域のしくみのようなものを作ってもらえないかと思っています。課題としてあるのではないかと思います。前に言ったことがあります、ありがとうございます基金など、支え合う仕組み、近所の人何人かグループを組み、やはり心配です。施設に行ってしまった人とか、入院してしまった人とか、倒れてしまった人とか、多いでしょう。自宅に残している鳥や猫がとても気になるそうです。そういうことが課題だと入れてもらえないかと思っています。よろしくお願いします。
今村委員長	事務局、いかがでしょうか。
事務局	高齢介護課です。今のお話は、施設入所をするときに飼って猫や犬の世話をどうしたら良いかということで、全国的にそういった課題が出ていることは知っております。そのことについて調べたことがあります。県でその辺りを課題として考えていて、相談窓口を県で設置していますので、今後、地域にお住いの単身高齢者の支援の中の一つとして、検討できると思います。今の段階で、窓口として県のここにご相談してくださいとご紹介をしております。今すぐには（その窓口の連絡先は）出てきませんが、そういったものを何年か前から周知している状況です。まだ秋山委員からどうにかならないのかというご質問が出るということは、周知が不十分かもしれないので、引き続き周知に努めていきたいと考えております。
今村委員長	よろしくお願いします。
高山委員	アンケートのところに戻ってしまいましたが、例えば、認知症サポーターの認知度が低いことに関しての意見として、小中学校などに向けてのサポーター養成、学校の働き方改革が結構進んでしまって、地域と小中学生、僕らの世代も含めて、分断傾向にあるのではないかという印象があります。そういったところでの周知活動は、ぜひ力を入れていただきたいです。もう一つは、単身高齢者に関して、緊急の案件があります。先ほど秋山委員もおっしゃっていた通りですが、例えば、サービスを提供した事業所、緊急的にショートステイをご利用した事業所があったとしても、支払い能力がないとなると、こちらとしてもサービスにつなげたくても、情報が分からないとつなげることができず、正直なところ、受け皿がなくなってしまいます。今後、そういった方もかなり増えるかと思うので、そういった方向けの基金や、緊急的にお受けするときの代替えでの支払い猶予等に関しての施策をご検討いただきたいと思います。
今村委員長	事務局から何かありますか。
事務局	ご意見として賜りまして、より具体的な話などを聞きながら検討していきたいと思います。
今村委員長	いただいた議事は、時間も参りましたので、これで終了としたいと思います。では、議長の任を解かせていただきます。事務局、よろしくお願いします。ご協力ありがとうございました。
司会	6. その他 続いて次第6、その他について、事務局から説明をお願いします。

事務局	次回の会議の開催予定は、10月中旬から下旬を予定しております。また、ご連絡いたしますので、予定をよろしくお願いいたします。また、今日はオンラインの設備の不手際がありまして、大変申し訳ございませんでした。
司会	7. 閉会 最後に閉会にあたりまして、清水副委員長にご挨拶をいただきたいと思います。清水副委員長、よろしくお願いいたします。
清水副委員長	副委員長 あいさつ
事務局	ありがとうございました。以上をもちまして、令和8年度第1回上尾市介護保険事業計画等推進委員会を終了いたします。 以上